

2025年3月31日

各位

三井住友信託銀行株式会社

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について
(芙蓉総合リース株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、芙蓉総合リース株式会社(代表取締役社長:織田 寛明、以下「芙蓉リース」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)(※1)等が策定した「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省が定めた「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」(以下、総称して「サステナビリティ・リンク・ローン原則等」)に則した「サステナビリティ・リンク・ローン」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手の経営戦略に規定されているサステナビリティ目標と整合した「キー・パフォーマンス・インディケーター(以下「KPI」)」と「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下「SPTs」)」を設定し、貸付条件と SPTs に対する借り手のパフォーマンスとを連動させ、SPTs 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

芙蓉リースでは、中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において社会課題の解決と経済価値の同時実現による持続的成長を目指し、重点的に取り組む非財務課題について定量目標を定め、財務(企業価値)・非財務(社会価値)両面の実現を等しく追及しています。かかる戦略の実現を資金調達面から支えるものとして、非財務目標を反映した「サステナブルファイナンス・フレームワーク(以下「本フレームワーク」)」を策定し、株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則等への適合性について第三者意見(※2)を取得しています。本件は本フレームワークに基づくサステナビリティ・リンク・ローンの融資契約であり、本フレームワークにて設定している KPI のうち、環境面で喫緊の課題である「脱炭素社会実現への貢献」に関連する2項目「CO2の削減貢献量」および「CDP 気候変動スコア」を選択しています。

当社では、サステナビリティ・リンク・ローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs 達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<芙蓉リースについて>

芙蓉リースでは、「前例のない場所へ。」をコーポレートスローガンに掲げ、お客様のニーズに真摯に向き合い、リースの枠組みを超え、新たなビジネス領域へ果敢にチャレンジしています。また、

CSV(Creating Shared Value:共有価値の創造)の実践を通じた社会課題の解決と企業としての持続的な成長の両立を目指しており、サステナブルファイナンスを通じて課題取り組みへのコミットメントを明確化し、ステークホルダーと継続的なエンゲージメント(建設的な対話)を進めていく方針です。

<KPI および SPTs の概要>

本件は、以下の KPI と SPTs を設定しています。

KPI	SPTs	SDGs
CO2 の削減貢献量	2026 年度(2027 年 3 月期)の CO2 の削減貢献量を 50 万 t-CO2/年	 
CDP 気候変動スコア	2029 年 3 月末日時点で最新の CDP 気候変動スコアについてリーダーシップレベル(A、A-)を取得すること	

(※1)ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60 ヶ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

(※2)サステナビリティ・リンク・ローン原則等への適合性についての第三者意見

株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上